

November 4, 2020

**【前日の為替概況】ドル全面安、104.44円、1.1740ドル、バイデン民主党候補の勝利を見込む**

3日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは7営業日ぶりに反発。終値は1.1715ドルと前営業日NY終値(1.1641ドル)と比べて0.0074ドル程度のユーロ高水準だった。米大統領選の行方に注目が集まる中、全国規模の各世論調査では民主党候補のバイデン前副大統領が支持率で共和党現職のトランプ大統領をリード。バイデン氏が公約に掲げる大規模な財政出動実現への期待から欧米の株価指数が軒並み上昇した。リスク・オンのドル売りが優勢となり、1時30分前に一時1.1740ドルと日通し高値を付けた。市場では「ロンドン16時(日本時間1時)のフィキシングに絡んだドル売りのフローが観測された」との指摘もあった。ただ、買い一巡後はやや伸び悩む展開に。一目均衡表転換線1.1745ドルや基準線1.1752ドルが目先レジスタンスとして意識されるとやや上値が重くなった。

ユーロ円は上昇。終値は122.41円と前営業日NY終値(121.94円)と比べて47銭程度のユーロ高水準。欧米株高を背景に投資家のリスク志向が改善し円売り・ユーロ買いが強まると、122.75円まで上昇した。なお、「バイデン政権」の誕生によって大型の財政出動が期待され、経済が支えられるとの見方からダウ平均は一時710ドル超上昇。CME日経平均先物は前営業日比500円高の2万3915円まで上昇した。

ドル円は4日ぶりに反落。終値は104.49円と前営業日NY終値(104.72円)と比べて23銭程度のドル安水準だった。米国株高に伴うリスク・オンのドル売りが出たほか、ロンドン・フィキシングに向けたドル売りも観測されて一時104.44円と日通し安値を更新した。売り一巡後は104.62円付近まで下げ渋る場面もあったが、戻りは鈍かった。

トルコリラは一転上昇した。リラ先安観が強まる中、対ドルで一時8.5434リラ、対円で12.24円と史上最安値を連日で更新した。「ナゴルノ・カラバフ紛争やシリア内戦など周辺域の地政学リスク、泥沼化するフランスとの関係、外貨準備高の枯渇、新型コロナで低迷する観光業、サウジアラビアのトルコ製品ボイコット、米国による制裁」など、同国を巡る懸念材料は多い。ただ、欧米株価が大幅に上昇すると投資家のリスク選好姿勢が強まり、リラに対してもドル売りと円売りが優勢に。ドルリラは8.3927リラと日通し安値を付けたほか、リラ円は12.45円付近まで持ち直した。

**【本日の東京為替見通し】米大統領選の開票状況を見極める展開**

本日の東京外国為替市場のドル円は、米大統領選挙の開票状況を見極める展開となる。

ニューヨーク市場では、バイデン民主党候補の勝利を見込み、大規模な財政出動実現への期待感からNY株式市場は上昇し、ドルはリスク選好地合いで全面安の展開となっている。

投票締め切り時間と注目州は以下の通りとなる。

- ・午前9時：ジョージア  
1960年以降、民主党候補が勝ったのは3回(※2回は知事だったカーター氏)
- ・午前9時30分：ノースカロライナ  
過去10回で民主党候補が勝利したのは2008年のオバマ氏のみ
- ・午前9時：フロリダ
- ・午前11時：テキサス・バイデン氏勝利ならば地滑り的勝利の可能性
- ・午後1時：カリフォルニア

バイデン第46代米大統領誕生となり、上院が一部報道で予想されているように51対49で民主党が多数派となり、下院も改選前のように民主党が多数派のままとなる「ブルーウェーブ」となれば、新型コロナ景気対策法案は民主党案の2.2兆ドル程度で成立し、増税の可能性はあるものの財政出動への期待が高まることになる。

ニューヨーク株式市場は、来年以降の増税よりも、目先の財政出動への期待感から、続伸する可能性が高まり、ドル円はリスク選好地合いで下落が予想される。

トランプ第45代米大統領が接戦州のフロリダ州やテキサス州などを制して再選を勝ち取り、上院で共和党が多数派、下院で民主党が多数派ならば、ドル円は下げ渋る展開が予想される。

米大統領・上下両院議員選挙の結果に関わらず、ドルの上値は、短期的な新型コロナウイルス感染拡大「第2波」、中期的な米連邦準備理事会(FRB)による2023年までのゼロ金利政策維持、財政赤字と債務残高の拡大、来年の米法定債務上限の復活などから限定的だと思われる。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ☆ 9月16-17日分の日銀金融政策決定会合議事要旨
- 08:50 ◇ 10月マネタリーベース

## &lt;海外&gt;

- 09:30 ◎ 9月豪小売売上高（予想：前月比▲1.5%）
- 10:45 ◎ 10月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：55.0）
- 17:45 ◎ パネッタ欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 17:50 ◎ 10月仏サービス部門PMI改定値（予想：46.5）
- 17:55 ◎ 10月独サービス部門PMI改定値（予想：48.9）
- 18:00 ◎ 10月ユーロ圏サービス部門PMI改定値（予想：46.2）
- 18:30 ◎ 10月英サービス部門PMI改定値（予想：52.3）
- 19:00 ◎ 9月ユーロ圏卸売物価指数（PPI、予想：前月比0.3%/前年比▲2.4%）
- 未定 ◎ ポーランド中銀、政策金利発表（予想：0.10%で据え置き）
- 21:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数
- 22:15 ☆ 10月ADP全米雇用報告（予想：60.0万人）
- 22:30 ◇ 9月カナダ貿易収支（予想：26.0億カナダドルの赤字）
- 22:30 ◎ 9月米貿易収支（予想：639億ドルの赤字）
- 23:30 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 23:45 ◎ 10月米サービス部門PMI改定値（予想：56.0）
- 23:45 ◎ 10月米総合PMI改定値
- 24:00 ☆ 10月米サプライマネジメント協会（ISM）非製造業指数（予想：57.5）
- 24:00 ◎ シュナーベル ECB 専務理事、講演
- 5日00:30 ◇ EIA週間在庫統計
- 米大統領選、投票締め切り（一番早い州はインディアナ州やケンタッキー州などで日本時間午前9時）
- 欧州連合（EU）財務相理事会
- 英中銀金融政策委員会（MPC、5日まで）
- 米連邦公開市場委員会（FOMC）1日目
- 米国がパリ協定から離脱
- ロシア（民族統一の日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

3日 10:00 カナダ政府

「カナダへの旅行者へ新たな条件を発表」  
「カナダへの旅行者は到着時に連絡先と旅行先の詳細を情報提供する」  
「情報を提供しなかった場合、1000カナダドルの罰金の措置」

3日 10:20 トランプ米大統領

「ペンシルベニア州の郵便投票期限の延長を認めた米最高裁の判断は非常に危険」  
「不正行為が横行し法のシステム全体を弱体化させ、街頭での暴力を誘発」  
「何かをしなければならない」

3日 12:33 オーストラリア準備銀行(RBA)声明

「雇用とインフレの両方の見通しを考えると、金融・財政支援はしばらくの間必要」  
「インフレ率が2-3%の目標範囲内に持続的に収まるまでは利上げは行わない」  
「少なくとも3年間は政策金利を引き上げることはないと考えている」  
「雇用とインフレの見通しの変化を考慮して、債券購入プログラムの規模を検討中」  
「必要に応じて、より多くのことを行う準備」  
「3年物国債利回りの目標値を0.1%程度に引き下げる」  
「タームローンの新規借入金利を0.1%へ引き下げ」  
「今後半年間で5-10年程度の満期の国債1000億豪ドルを購入」  
「景気回復が進んでおり、9-12月期のGDPはプラス成長が見込まれている」  
「パンデミック前の水準に達するまでには時間がかかると思われる」  
「2022年末の失業率は6%程度になると予想」  
「今後数年間は賃金や物価の上昇は緩やかになると予想」  
「インフレ率は2021年に1%、2022年には1.5%を見込む」

3日 14:02 ロウ豪準備銀行(RBA)総裁

「国債買い入れ規模を拡大する可能性」  
「5年債利回りの目標は妥当ではない」  
「さらなる政策を投じる準備はある」  
「マイナス金利の可能性は非常に低いと依然として見込んでいる」

「ビクトリア州がGDPを1.5-2%押し下げる」

「マイナス金利に突入する意欲はない」  
「方向性は正しいというのがメンバーのコンセンサス」  
「豪ドルはファンダメンタルズからそれほど遠くない」  
「豪ドルは政策金利緩和の主な要因ではない」  
「RBAは、機能不全の場合にのみ為替市場に介入する」  
「弱い豪ドルを望んでいる」  
「我々は明らかにまだリセッションの中にある」

3日 23:49 欧州連合(EU)

「(英・EU)漁業問題を巡る合意を得ていない」  
「依然として多くの作業が残っている」

3日 23:51 英政府

「(英・EU)漁業問題でさほど進展なし」

4日 00:23 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事

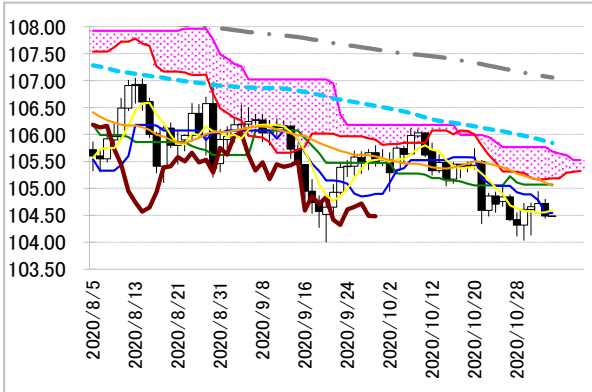
「コロナ危機終了後、我々は再び通常の政策手段を使わなければならない」

5日 01:56 4日 00:23 エルドアン・トルコ大統領

「コロナ対策として(現地時間)午後10時からレストランやプール、理髪店などを閉鎖へ」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

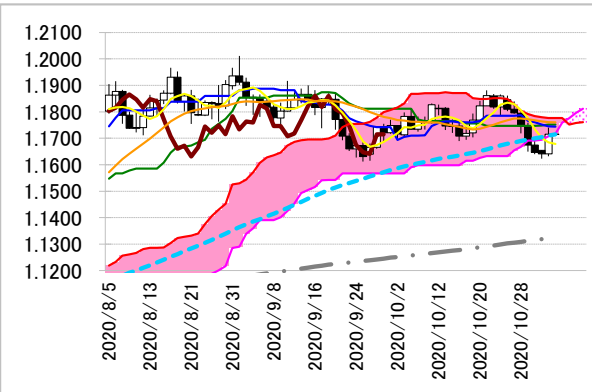


### <ドル円＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。3手連続陽線で反発した後、抱き線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.07(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	104.49
サポート1	104.00(9/21 安値)
サポート2	103.09(3/12 安値)

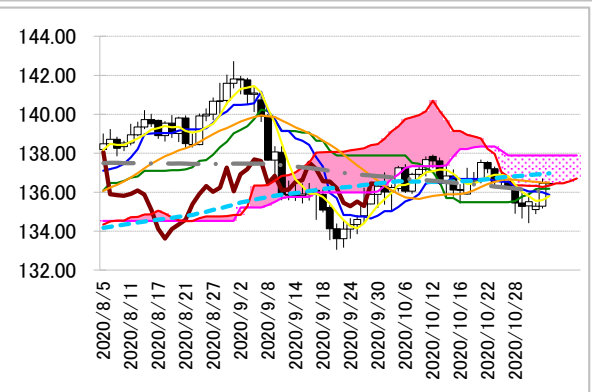


### <ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。6手連続陰線で下落後、抱き線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1744(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1715
サポート1	1.1612(9/25 安値)

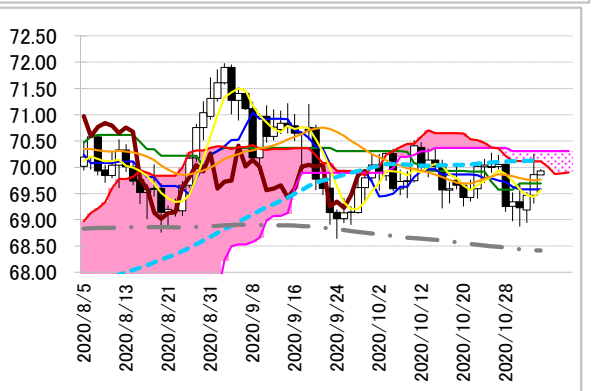


### <ポンド円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	137.88(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	136.45
サポート1	135.87(日足一目均衡表・転換線)



### <NZドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、2手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	70.31(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	69.86
サポート1	69.58(日足一目均衡表・転換線)

